

津島市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定 第3回東小学校区懇談会 開催報告

新たな「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を確認し 今後の活動を展望

■テーマ：「東小学校区における地区懇談会の成果と計画（案）を確認し
今後の地域福祉活動について話し合おう」

■日時：平成28年2月17日（水）9：30～11：00 ■場所：津島市総合保健福祉センター 福祉活動室

■参加者：計21名（参加者15名、事務局6名）

【開会、趣旨説明】

事務局の福祉課より、本日の会議の趣旨や検討テーマ、スケジュールについて確認しました。

今回は、新たに策定した「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の概要を報告するとともに、東小学校区の「地区懇談会」の開催結果について説明しました。

続いて、平成28年度からの地域福祉活動の進め方と、そのために地区懇談会を継続することやコミュニティ推進協議会における体制づくりについて意見交換することを説明しました。



【「津島市地域福祉計画・津島市地域福祉活動計画」の概要説明】

「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の、基本理念、基本目標と基本施策、重点的な取組み、計画の推進方法について、概要を説明しました。

また、計画書の参考資料として添付する「地区懇談会結果概要」を説明しました。

これに基づき、東小学校区における地域福祉課題を解決するための取組みアイデアを振り返って、今後の活動や体制づくりなどについて意見交換を行いました。

【今後の福祉活動のあり方や、体制づくり、地区懇談会の継続について】

今後の福祉活動については、この小学校区で特に重点的に進めるべきことについて意見を交換しました。体制づくりについては、地区社会福祉協議会の設立を目指すことについて、また、そのための土壌づくりとしてコミュニティ推進協議会において福祉部会を設置することに加え、あるいは平成27年度に3回開催した地区懇談会を今後も続けることについて話し合いました。あわせて、平成28年度に開催を目指す第1回の地区懇談会の時期についても検討しました。

意見交換の結果は、裏面のとおりです。

今後の福祉活動のあり方や、それを進めるための体制づくり、地区懇談会の継続

今後、取り組むべき福祉活動について

- ・コミュニティの催し物への参加者を増やす。若い世代、PTA、子ども会などに対し、部会の催しにも参加してもらえるように声をかけていく。
- ・困っているケースに応じて、支援を行う。
- ・高齢者を地域で支援して、施設の世話にならないようにする。
- ・フェスティバルや、伝統文化の継承について、コミュニティ推進協議会メンバーで行う。フェスティバルを幅広い内容にして、各団体の協力など意見を得ていく。
- ・まずは高齢者をはじめ、住民を引っ張り出すことが必要である。サロンは、生きがいクラブ（古川、橘、新開）ではサロンを開催している。新聞で呼びかけたり、駐車場を確保して、人集め、声かけを行ってはどうか。（介護予防のために、車（駐車場）のみでなく、歩いて集まることにする。）
- ・コミュニティセンターでコミュニティ推進協議会がサロンをやるようにする。老人会の会員拡大をサロンから行う。
- ・活動の柱は、どのようなものにすべきか。
- ・少しずつ参加者を広げる。町内単位で、できなくなったことは地域でカバーする。

地域福祉活動を進めるための体制づくりについて

- ・福祉部会は、民生委員がリードして、PTA、子ども会、町内会の参加を得る。

地区懇談会の開催について

- ・地区懇談会は、28年度も継続する。
- ・お母さんたちも集まれるように、土曜日などに開催する。
- ・会場はセンターを活用する。

【第3回地区懇談会でのご意見・ご感想(アンケート結果より)】

- ・福祉部会が発足することができて、一歩前である。
- ・地域の安心・安全の大切さが分かった。
- ・若い人の意見も聞きたいので、福祉部会などへの参加を希望する。地域の人の参加を増やす方法・呼びかけを考えていくことが一番である。

